

2025（令和7）年度入学試験問題

地 理

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題の本文は全部で25ページです。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
6. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。
(機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。)
 - (2) 解答科目欄は、解答する科目を一つ選び科目の下のマーク欄を正確にマークすること。
マークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、無効となります。
 - (3) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
 - (4) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
 - (5) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
 - (6) 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の（例）のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

（例） ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	

7. 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

I 民族に関する1～3の設問に答えなさい。

1. 次の図1, 図2に関する下の問1～問3に答えなさい。

※図1については著作権の関係により掲載できません。

図1 ヨーロッパの言語地域区分図

問1 図1はヨーロッパの言語地域区分図で、太実線はゲルマン・スラブ・ラテンの3語派に関する言語境界線である。この言語境界線を構成する民族群に該当する語族や語派として最も不適当なものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄

1

 にマークしなさい。

- | | |
|---------------|--------------|
| ① ウラル語族 | ② アフリカ・アジア語族 |
| ③ インド・ヨーロッパ語族 | ④ アルタイ諸語 |

問2 図1の太実線の言語境界線を、AC, BC, CD, DE, DG, EF, FG, GH, HI, HL, IJ, IKの12個の線分に分けたとき、12個の線分の中には、境界の両側の語派の組み合わせが同一である言語境界線がいくつかある。線分BC, 線分HIの言語境界線と同じ語派で形成されている言語境界線として最も適するものを、次の①～⑥の中から、ひとつずつ選び、線分BCと同じものを解答欄 , 線分HIと同じものを解答欄 にそれぞれマークしなさい。

① AC ② DE ③ DG ④ EF ⑤ FG ⑥ GH

問3 図2は、キリスト教のカトリック、正教会、プロテスタントの宗教地域区分図である。図2を参考に、次の(1)～(3)の文章に最も適する国名と地図中の記号(あ～け)の組み合わせを、下の①～⑩の中からひとつずつ選び、(1)については解答欄 , (2)については解答欄 , (3)については解答欄 にそれぞれマークしなさい。

- (1) この国は王国で、カトリックとプロテスタントの境界線がこの国の中を走っており、カトリックの信者の方がプロテスタントの信者よりも多い。
- (2) この国は50年余りのあいだソ連邦を構成していたが1991年に独立した国で、カトリックの信者が約80%を占める。
- (3) 連邦共和国の一部を構成していたが、1991年から1992年にかけて構成諸国の過半が独立した。この国は、最も早く連邦共和国の承認を得て1991年に独立した。正教の信者やイスラム教の信者が多い他の旧構成国と異なり、カトリックの信者が多数を占める。

①	②	③	④	⑤
イギリス	ラトビア	セルビア	ベルギー	リトアニア
あ	う	け	い	え
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
クロアチア	ポーランド	オランダ	スロベニア	ベラルーシ
く	お	い	き	か

※図2については著作権の関係により掲載できません。

図2 ヨーロッパの宗教地域区分図

2. 次の文章を読み、下の問1～問3に答えなさい。

世界の国々には、民族割合と政治権力との関係にさまざまなタイプがある。たとえば、国民の大半が1民族で構成されている国_n、構成割合が高い民族が2民族以上から成る国_p、16世紀以降の移住民が主に政治権力を有する国_oがある。

問1 下線部 n に関して、1 民族が国民の 9 割以上を占める国として不適当なものを、次の①～⑦の中からふたつ選び、解答欄 7 と 8 にマークしなさい。ただし、解答の順序は問わない。

- | | |
|-----------|---------------|
| ① アルバニア | ② イタリア |
| ③ スペイン | ④ 朝鮮民主主義人民共和国 |
| ⑤ 日本 | ⑥ ネパール |
| ⑦ バングラデシュ | |

問2 下線部 o に関して、2 つ以上の民族が10%以上の人口を占める国として最も不適当なものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 9 にマークしなさい。

- | | | |
|------------|-------|-------|
| ① アゼルバイジャン | ② イラク | ③ イラン |
| ④ トルコ | | |

問3 下線部 p に関して、16世紀以降の移住民が先住民と混血して人口の過半を占め、主な政治権力を有して他の民族の統合を進めている国として最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 10 にマークしなさい。

- | | | |
|------------|------------|----------|
| ① エクアドル | ② ニュージーランド | ③ マダガスカル |
| ④ 南アフリカ共和国 | | |

3. 次の図3に関する下の問1～問4に答えなさい。

※図3については著作権の関係により掲載できません。

図3

問1 図3中に所在する山脈または高原として最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄

11

 にマークしなさい。

- ① ウラル山脈 ② エルブールズ山脈 ③ カフカス山脈
④ パミール高原

問2 次の①～⑩の中から、ロシアからの独立を求め武力紛争が起こったチェチェン共和国、ロシアの武力支援によりジョージアからの独立を進める南オセチア自治州として最も適するものをひとつずつ選び、チェチェン共和国については解答欄 **12**，南オセチア自治州については解答欄 **13** にそれぞれマークしなさい。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ ⑤ オ ⑥ カ ⑦ キ
⑧ ク ⑨ ケ ⑩ コ

問3 図3のm, nの2地域は、隣接する周囲の民族とは宗教・宗派、言語のいずれかが異なる。m, nの地域を領有する国の組み合わせとして最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **14** にマークしなさい。

	①	②	③	④
m	Y	W	Y	Y
n	V	Z	Y	X

問4 図3中のa～eはこの一帯の主な都市である。最も人口の多い都市として適するものを、次の①～⑤の中からひとつ選び、解答欄 **15** にマークしなさい。

- ① a ② b ③ c ④ d ⑤ e

Ⅱ 島嶼国（島国）と島嶼地域（諸島や群島）に関する 1, 2 の設問に答えなさい。

1. 次の文章を読んで、下の問 1 ～問 5 に答えなさい。

世界には約 の国があり、その中の約 が島嶼国（島国）である。人口を縦軸、面積を横軸にとって島嶼国を図示すると、下の図 4 のグラフのようになる（縦軸、横軸ともに対数目盛表示）。図 4 から半分以上の島嶼国が 10,000km²以下の面積であることがわかる。それとともに、一口に島嶼国といっ
(ウ)ても、島嶼国間で面積や人口の違いが大きいこともわかる。

島嶼国の数を 6 大陸（大州）の間で比較するとかなりばらつきがある。その大陸（大州）に所在する国の数に占める島嶼国の割合が最も高いのはオセアニア、次いで高いのは である。割合が最も低いのは である。面積が大きい順に島嶼国を並べると、上位10か国のうち最多数が にある。また人口が多い順に並べると、上位 4 か国はアジアと にある。

※図4については著作権の関係により掲載できません。

図 4 世界の島嶼国（島国）

問1 文中の空欄 **ア** , **イ** の組み合わせとして最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **16** にマークしなさい。

	①	②	③	④
ア	200	200	250	250
イ	20%	25%	15%	20%

問2 文中の下線部(ウ)10,000km²に近い面積の都道府県として最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **17** にマークしなさい。

- ① 北海道 ② 岩手県 ③ 岐阜県 ④ 京都府

問3 文中の空欄 **エ** , **オ** に最も適するものを、次の①～⑤の中からひとつずつ選び、**エ** については解答欄 **18** , **オ** については解答欄 **19** にそれぞれマークしなさい。

- ① アジア ② アフリカ ③ ヨーロッパ ④ 北アメリカ
⑤ 南アメリカ

問4 文中の空欄 **カ** に最も適するものを、次の①～⑥の中からひとつ選び、解答欄 **20** にマークしなさい。

- ① アジア ② アフリカ ③ ヨーロッパ ④ 北アメリカ
⑤ 南アメリカ ⑥ オセアニア

問5 文中の空欄 **キ** に最も適するものを、次の①～⑤の中からひとつ選び、解答欄 **21** にマークしなさい。

- ① アフリカ ② ヨーロッパ ③ 北アメリカ ④ 南アメリカ
⑤ オセアニア

2. 独自の文化をもつ島嶼地域（諸島や群島）が世界各地に所在する。このような諸島（群島）に関する、次の文(あ)～文(う)を読み、下の問1～問4に答えなさい。

文(あ) 北海からバルト海にかけての北緯60度前後の海域にはいくつかの諸島がある。フェロー諸島、シェトランド諸島、オーランド諸島はその代表例である。これらの諸島には、自治政府を樹立しているものとそうでないものがあるが、いずれの場合も高い自治権を有している。

文(い) フランスの海外領土（海外準県）であるフランス領ポリネシアには100を超える島々からなるいくつかの諸島がある。この一帯の中心は18世紀まで王朝があったタヒチ島で、タヒチ語がフランス語とともに公用語として用いられている。

文(う) インドシナ半島の東西には、多くの諸島（群島）がある。西側の o にはアンダマン諸島、ニコバル諸島、東側の p には東沙諸島（群島）、西沙諸島（群島）、中沙諸島（群島）、南沙諸島（群島）。スプラトリー諸島）などがある。アンダマン諸島の先住民の言語は日常話者がいない死語に近い状態にあるのに対し、ニコバル諸島では今も先住民の言語が話されている。これに対して、p の諸島群はおもに岩礁・砂州と環礁から成り、国連海洋法条約の島の要件「自然に形成され満潮時にも水没しない」を満たす島が少ないため、長く国境の未画定の状態が続いた。

問1 図5のA～Dについて、文(あ)のフェロー諸島、シェトランド諸島、オーランド諸島の位置の組み合わせとして最も適するものを、次の①～⑥の中からひとつ選び、解答欄「22」にマークしなさい。

※図5については
著作権の関係により掲載できません。

	①	②	③	④	⑤	⑥
フェロー諸島	A	A	B	D	D	C
シェトランド諸島	B	C	C	C	A	B
オーランド諸島	C	D	D	A	B	A

図5

問2 図6の①～④の中から、文(い)のフランス領ポリネシアの位置として最も適するものをひとつ選び、解答欄「23」にマークしなさい。

※図6については著作権の関係により掲載できません。

図6

問3 文(う)の空欄 と に入る地名の組み合わせとして最も適するものを、次の①～⑥の中からひとつ選び、解答欄 にマークしなさい。

	①	②	③	④	⑤	⑥
o	ベンガル湾	アラビア海	ベンガル湾	アラビア海	ベンガル湾	アラビア海
p	南シナ海	東シナ海	フィリピン海	南シナ海	東シナ海	フィリピン海

問4 文(う)の東沙諸島、西沙諸島、中沙諸島、南沙諸島は、複数の国がその帰属を主張してきた諸島である。これら4諸島の中で、最も多くの国がその帰属を主張している諸島として最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 東沙諸島 ② 西沙諸島 ③ 中沙諸島 ④ 南沙諸島

Ⅲ 地図に関する 1, 2 の設問に答えなさい。

1. 次の地形図（国土地理院平成20年発行，原寸。図7）に関する，下の問1～問5に答えなさい。

※図7については著作権の関係により掲載できません。

問1 都・府・県界の東西にある都・府・県として最も適するものを、次の①～

④の中からひとつ選び、解答欄 **26** にマークしなさい。

- ① 三重県と奈良県 ② 三重県と京都府 ③ 三重県と滋賀県
④ 岐阜県と滋賀県

問2 雨乞岳近傍の★の一带に降った雨が表流水として流下する状況について述べた次の①～④の中から、最も適するものをひとつ選び、解答欄 **27** に

マークしなさい。

- ① 神崎川に流れ込む。
② 朝明川に流れ込む。
③ 東の御在所山方面に流れ、一部は長者池などに貯留し、湯の山方面に流れていく。
④ 東北東の根の平峠西側に貯留し、そこから四方に溢流する。

問3 地形図の北側、杠葉尾町の集落の東に記された八風街道は、徒歩交通の時代から所在した街道である。八風街道について述べた次の①～④の中から最も適するものをひとつ選び、解答欄 **28** にマークしなさい。

- ① 現在の国道のルートとほぼ同じルートを通っていた。
② 幅員1.5m未満の道を東南東の八風谷の方にしばらく進み、その後現在の国道とX地点のあたりでつながっていた。
③ 幅員1.5m未満の道を東南東の八風谷の方に進み、そのまま八風峠を越えて東方の集落とつながっていた。
④ 幅員1.5m未満の道を東南東の八風谷の方に進み、八風峠に到達すると、尾根道として釈迦ヶ岳まで続いた。

問4 尾根を東西に横切る4本の幅員1.5m未満の道路の地点A, B, C, Dについて述べた次の①～④の中から、最も不適当なものをひとつ選び、解答欄

29 にマークしなさい。

- ① A～Dの4地点の標高を比較すると、地点AとCのほうが地点BとDよりも標高が低い。
- ② A～Dの4地点はすべて標高780mよりも高い。
- ③ 地点BとDの標高を比較すると、200m以上の差がある。
- ④ A～Dの4地点と八風峠の標高を比較すると、4地点のうち2地点が八風峠よりも標高が高い。

問5 「ゆのやまおんせん」と「さんじょうこうえん」を結ぶ御在所ロープウェイについて述べた次の文を読んで、下の問いに答えなさい。

「ゆのやまおんせん」と「さんじょうこうえん」との間の水平距離はおよそ **a** , 標高差は **b** である。従って御在所ロープウェイの平均傾斜はほぼ21度である。

(1) **a** に最も適するものを次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **30** にマークしなさい。

- ① 800m ② 2,000m ③ 4,000m ④ 6,000m

(2) **b** に最も適するものを次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **31** にマークしなさい。

- ① 140m ② 320m ③ 780m ④ 1,200m

2. 世界地図の投影法に関する問1～問4に答えなさい。

問1 正距方位図法の世界地図の直径(円周の1地点から図の中心をとおって反対側の円周まで延ばした線)の実際の距離として最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **32** にマークしなさい。

- ① 10,000km ② 20,000km ③ 40,000km ④ 80,000km

問2 ボンヌ図法で描いた下の世界地図（図8）の中の4地点E, F, G, Hについて、作図のひずみが最も小さい地点として最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **33** にマークしなさい。

- ① E ② F ③ G ④ H

※図8については著作権の関係により掲載できません。

図8

問3 円錐図法で作成されたプトレマイオスの世界地図に関する次の①～④の中から、最も適するものをひとつ選び、解答欄 **34** にマークしなさい。

- ① 心射円錐図法により、緯度は赤道から北緯60度まで、経度はカナリア諸島を0度とし東へ180度までを描いている。
- ② プトレマイオスは紀元2世紀に活躍した学者で、『地理学（ゲオグラフィア）』と題する書物に、世界地図と多数の地方図が付されていた。
- ③ 内海として地中海、外洋として大西洋とインド洋、内湖としてカスピ海が描かれている。
- ④ エラトステネスの値を用いて地球一周を約32,000kmと見なしたため、地球の大きさが過小に表現されている。

問4 世界地図に関する次の①～④の中から、最も適するものをひとつ選び、解答欄 35 にマークしなさい。

- ① 13～16世紀には羅針盤を用いた航海が行われ、羅針盤の中心から方位線を引いて航海するポルトラノ型海図が数多く作成された。メルカトルは、16世紀に、方位線と経線のなす角が常に正しい舵角を示す正角図法の世界地図を作成した。
- ② サンソン図法とホモロサイン図法の利点を生かすため両者を折衷した正積図法の世界地図がグード図法である。
- ③ メルカトル図法に修正を加えたミラー図法は、極地域でのメルカトル図法のひずみを緩和できる利点をもつ一方で、正角図法でも、円筒図法でもない。
- ④ 中世ヨーロッパのTOマップ、イドリーシーの世界地図、フラマウロの世界地図、マルチンベハイムの地球儀に描かれた世界地図を比較すると、フラマウロの世界地図は新大陸（アメリカ大陸）を描いているが、他の3つにはいずれもアメリカ大陸は存在しない。

Ⅳ 貿易・産業と都市・人口に関する 1～2 の設問に答えなさい。

1. 次のグラフ（図 9）は2022年の輸出額，輸入額がともに200億ドル以上の国・地域を対象に，2022年貿易額を縦軸，2022年貿易額の2018年貿易額に対する増加率を横軸にとって作図したものである。グラフ中の●は国・地域を表す。一部の国・地域については，アジアの国・地域（○），ヨーロッパの国・地域（▼）であることを示したが，●は6大陸中のいずれかの国・地域である。グラフを参考に，下の問1～問7に答えなさい。

※図9については著作権の関係により掲載できません。

図 9

資料) WTO『国際貿易統計』による

注) 貿易額＝輸出額＋輸入額

問1 グラフ中のア、イ、ウは、アジアの国・地域の中で類似した増加率を示した3つの国・地域をグループ化したものである。ア、イ、ウのグループに含まれる国・地域の組み合わせとして最も適するものを、次の①～⑥の中からひとつ選び、解答欄 **36** にマークしなさい。

	①	②	③	④	⑤	⑥
アラブ首長国連邦, ベトナム	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
インドネシア, マレーシア	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
タイ, 香港	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問2 グラフ中のあ、い、うは、ヨーロッパの国々の中で類似した増加率を示した3つの国をグループ化したものである。あ、い、うのグループに含まれる国の組み合わせとして最も適するものを、次の①～⑥の中からひとつ選び、解答欄 **37** にマークしなさい。

	①	②	③	④	⑤	⑥
イギリス, フランス	あ	あ	い	い	う	う
イタリア, スペイン	い	う	あ	う	あ	い
オランダ, ベルギー	う	い	う	あ	い	あ

問3 グラフ中のA, B, Cに該当する国の組み合わせとして最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **38** にマークしなさい。

	①	②	③	④
A	ドイツ	日本	ドイツ	日本
B	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	中国	中国
C	中国	中国	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国

問4 グラフ中のa国は、神聖ローマ皇帝が誕生した歴史を有し、首都の歴史地区にはバロックやゴシックの建築物、聖堂・教会が色鮮やかである。国際河川が首都を流れ、クルーズ観光で隣国の諸都市とあわせてめぐることができる。首都の西南西100km弱の地点にはビール醸造で世界的に有名な都市もある。aとして最も適する国を、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **39** にマークしなさい。

- ① オーストリア ② チェコ ③ ハンガリー
④ ロシア

問5 グラフ中のbとして最も適する国を、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **40** にマークしなさい。

- ① インド ② 韓国 ③ サウジアラビア
④ トルコ

問6 グラフ中のcの2021年の主な輸出入品目とその割合は、次の表のとおりである。cとして最も適する国を、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **41** にマークしなさい。

輸出（品目，％）		輸入（品目，％）	
鉄鉱石	34	機械類	26
石炭	14	自動車	13
液化天然ガス	11	石油製品	8
金	5	医薬品	4
肉類	3	衣類	3

- ① インド ② オーストラリア ③ カナダ
④ 南アフリカ共和国

問7 グラフ中のd国では農産物の輸出が貿易額に占める割合が高く、経済発展も著しい。電源割合において、国の発電電力量に占める水力の割合と再生可能エネルギーの割合（2022年）が、それぞれ約63%と24%を占める特徴がある（Energy Institute, *Statistical Review of World Energy*, 2023）。dとして最も適する国を、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 42 にマークしなさい。

- ① カナダ ② 南アフリカ共和国 ③ ブラジル
④ ロシア

2. 世界の都市・人口に関する次の説明文を読み、下の問1～問7に答えなさい。

人類史において都市人口割合はおおむね上昇の一途をたどってきた。国連の *World Urbanization Prospects 2018* によれば、1950年の都市人口割合は約 ア %であった。イ 年に50%、2022年に約 ウ %、2030年には エ %を超えると推計されている。一方、国連の「多次元貧困指数（MPI）」に基づく貧困層は2020年現在、世界で13億人を数え、その分布は一様でない（UNDESA, UNDPによる）。都市部と非都市部（農村部）の貧困割合を地域別に比較すると カ ことがわかる。都市におけるスラム居住人口が都市人口に占める割合・状況（UN-Habitat 2012）について「中国」「東南アジア」「南アジア」「西アジア」「北アフリカ」「サハラ以南アフリカ」「南アメリカ」「オセアニア」の8地域を比較すると キ。また、例えばロンドンを例に挙げて、先進国でも都市における貧富の差が拡大している場合が少なくないことを指摘している。

注）「多次元貧困指数」は、健康、教育、生活水準に関する加重指標（栄養、乳幼児死亡率、就学年数、就学率、調理用燃料、衛生、水、電力、床張り、資産所有）のうち3分の1以上での貧困状態として、また「スラム居住」は、住居の耐久性、1室に3人を超えない十分な生活空間、手ごろな価格で

の衛生的な水へのアクセス、衛生的なトイレへのアクセス、住み続けられる保障（退去を強制されない）の5項目のうちひとつ以上が当てはまる居住として、それぞれ定義されている。

問1 文中の空欄 **ア** に入る数字として最も適するものを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **43** にマークしなさい。

- ① 10 ② 20 ③ 30 ④ 40

問2 文中の空欄 **イ** と **ウ** と **エ** のうち、**イ** と **ウ** に入る数字として最も適する組み合わせを、次の①～④の中からひとつ選び、解答欄 **44** にマークしなさい。

	①	②	③	④
イ	1983	1995	2008	2013
ウ	60	55	57	60

問3 文中の下線部オについて、「東アジア・東南アジア」「中央アジア・南アジア」「西アジア・北アフリカ」「サハラ以南アフリカ」「ヨーロッパ・北米」「カリブ海地域・ラテンアメリカ」の6地域における貧困層の割合について述べた次の①～④の中から、最も適するものをひとつ選び、解答欄 **45** にマークしなさい。

- ① 「サハラ以南アフリカ」が最も高く、「中央アジア・南アジア」がそれに次いで高い。
- ② 「ヨーロッパ・北米」が最も低く、「東アジア・東南アジア」がそれに次いで低い。
- ③ 「中央アジア・南アジア」が最も高く、「サハラ以南アフリカ」がそれに次いで高い。
- ④ 「西アジア・北アフリカ」が最も低く、「カリブ海地域・ラテンアメリカ」がそれに次いで低い。

問4 文中の空欄 **カ** について、「東アジア・東南アジア」「中央アジア・南アジア」「西アジア・北アフリカ」「サハラ以南アフリカ」「ヨーロッパ・北米」「カリブ海地域・ラテンアメリカ」の6地域における都市部と非都市部（農村部）の貧困割合について述べた次の①～③の中から、最も適するものをひとつ選び、解答欄 **46** にマークしなさい。

- ① いずれの地域においても、都市部のほうが非都市部（農村部）よりも貧困割合が高い
- ② いずれの地域においても、非都市部（農村部）のほうが都市部よりも貧困割合が高い
- ③ 都市部のほうが非都市部（農村部）よりも貧困割合が高い地域もあれば、逆に非都市部（農村部）のほうが都市部よりも貧困割合が高い地域もあり、地域によってまちまちである

問5 文中の空欄 **キ** について、次の①～④の中から、最も適するものをひとつ選び、解答欄 **47** にマークしなさい。

- ① 「サハラ以南アフリカ」「南アジア」「南アメリカ」が割合上位の4地域に含まれている
- ② 「北アフリカ」「南アメリカ」「オセアニア」が割合下位の4地域に含まれている
- ③ 「北アフリカ」「中国」「オセアニア」が割合下位の4地域に含まれている
- ④ 8地域すべてにおいてスラム居住人口は2000年よりも2012年のほうが減少している

問6 世界の都市圏について、都市圏内人口上位30個の都市圏の、1950年から2030年までの推移を、UNDESA *World Urbanization Prospects: The 2018 Revision*を用いて調べ、図10と図11の2つのグラフを作成した。図10は世界の人口上位30都市圏の地域別（大陸州別）割合を、図11は1,000万人以上の都市圏数と上位30都市圏人口の平均値の1950年から2030年までの推移を表している。

※図10については著作権の関係により掲載できません。

図10 世界の人口上位30都市圏の地域別割合

※図11については著作権の関係により掲載できません。

図11 1,000万人以上の都市圏数と上位30の都市圏人口の
平均値の推移（1950－2030年）

注）*World Urbanization Prospects: The 2018 Revision*の2020年値と2030年値は将来推計値である。

図10のX, Zの組み合わせとして最も適するものを, 次の①～④の中からひとつ選び, 解答欄 **48** にマークしなさい。

	①	②	③	④
X	ヨーロッパ	アングロアメリカ	ヨーロッパ	アングロアメリカ
Z	アジア	アフリカ	ラテンアメリカ	アジア

問7 図11が示すように, 1,000万人以上の人口を擁する都市圏の数は1950年当時非常に少なかったが, 1980年以降急速に増え, 個々の都市圏人口の規模も拡大した。World Urbanization Prospects 2018により, 1,000万人以上の人口を擁する都市圏として1950年から2030年まで世界の上位30位以内の地位を維持した都市圏の中心地として最も適するもの, および1990年から2030年まで世界の上位30位以内の地位を維持した都市圏のうち1995年までの都市圏人口は1,000万人未満であった都市圏の中で2030年の都市圏人口が最も多い都市圏の中心都市として最も適するものを, 次の①～⑧の中からひとつずつ選び, 前者については解答欄 **49** に, 後者については解答欄 **50** にそれぞれマークしなさい。

- ① カイロ ② シカゴ ③ ダッカ ④ 東京 ⑤ 北京
⑥ ラゴス ⑦ リマ ⑧ ロンドン